

第 2 回議会報告会（平成 22 年 11 月 1 日（月） 善防公民館）

1 部 議会報告に対する意見・質問ならびに回答

問：議案第 58 号。派遣対象を、加古川西部土地改良区が追加されているが、改良区からは要請がないが市長は派遣したいという事であるが、その理由と加古川西部土地改良区の事業内容および事業規模はどれくらいか。

答（三宅）：市長からは、加古川西部土地改良区が抱えている問題等、職員を送って前倒しでより充実をさせたいとのことでした。事業内容は、加西市を始めとする加東市小野市、姫路市等の農地へ年間を通じて農業用水を配水しています。事業規模は、はっきりした事が確認できておりませんので答弁はお許しいただきたい。

問：市の補助金は、出ているのか。

答（三宅）：市の補助金は、出ていません。

問：市長が理事長として出られていた理由は。

答（三宅）：これまでは、加西市の市長が加古川西部土地改良区の理事長としてずっと推移してきました。このたび中川市長から辞任の申し出があり、加古川西部土地改良区の理事会ではやむを得ないという事で承認されました。

問：加古川西部土地改良区と市との係わりは全くないのか。

答（三宅）：市との係わりは、全くないことはありません。市長は、委員外理事としておられるし、事業費について市に大きな負担をしていただいています。運営自体は、維持管理費の中で、自前でやっています。

答（山下）：補助金の負担というよりも農家負担の軽減で、平成 2 年から 27 年までの 25 年間加西市から約 82 億円のお金を出していただいています。1 年間で一番多かった年で 4 億 5 千万円ぐらいあります。事業本体は、国がやっていますが、中町糺屋ダムから畑町までが国の部分で、その先は改良区の管理部分です。今後、改良区の管理の部分は永遠に残っていきます。施設の老朽化問題等もありますが、今のところ市の負担等はありません。

問：議案 61 号。土地利用連絡調整会議の構成内容は。また、執行者側だけの人選でいいのか。議会における賛否など、もう少し前向きな議論が聞こえてこないがどうなのか。

答（三宅）：土地利用連絡調整会議は今回新たに盛り込まれたものであります。その構成は、関係する部署によって構成されるもので、人数は、おおむね 12 から 15 名程度と聞いていますが委員会はまだ設置されていないと思います。

答（黒田）：まだ誰とは決まっていません。担当部局の担当課長をメンバーに入れたいとの話でした。

答（森元）：開発がセーブされてしまうとの意見や事前にトラブル防止になるなどの意見がありました。どちらも前向きな議論がありました。それぞれが、加西市の事を思っている事で、僅差の 9 対 8 で議案が通りました。

要望：執行者ばかりの委員構成でいいのか。意見が偏らないか。もう少し違う方面の委員が入れないのか。メンバー構成に対して要望。他所からの方も会議に参加させてほしい。

2部 意見交換 加西市の未来像（少子高齢化社会における人口増対策等）について

問：質問の趣旨が分かりにくい。

答（山下）：自分の考えや思いを述べてもらいたい。

問：人口減は仕方がない。しかし、その中で地域はどうやっていくかを考えるのが一番効果的。人口が減っても暮らしていける社会作りが必要。

答（山下）：加西市の人口は、昭和 61 年には、5 万 3 千人ありましたが、それをピークに現在は、4 万 8 千人となっています。昭和 62 年から出生率と死亡数が逆転しています。

問：市行政と町行政とのつながり。市の考え方と町行政がついていけない状況がある。

答（西川）：答えになりませんが、ある企業が加西市の水が高いから加西市以外に従業員を住まわそうと言われていました。加西市の水代を下げる政策が必要です。

問：昼間の人口と夜間の人口との格差への対応は。また、増減の原因究明へのアプローチをしてほしい。

答（山下）：今、加西市では、4 箇所の工業団地があります。その雇用人数は、3,506 人ですが、そのうち加西の人はわずか 33%であります。また、イオンは 1,200 人の内半分が加西市の人ではありますが、80%がアルバイト・パートといった雇用形態です。これを見ると昼間の人口の方が多いことがわかります。また、加西はUターンがありません。医療費の問題、小学校設備、また交通の便など小野市などに比べて遅れています。

問：加西は、公共交通機関がないことが大きなウエイトを占めている。又、市街化調整区域の改善が必要である。また、幼稚園教育も大切である。下里幼稚園はどうなっているのか。

答（井上智）：人口減は数では語れません。現実には、加西市から他市へ引越しをしています。加西市が選ばれなくなっています。加西市という商品を買ってもらえるのかどうか。買ってもらおうと思えば安い（公共料金）付加価値（公共交通機関、教育環境）が高いかです。残念ながらどちらも実現できていないここを解決できるかどうかにかかっています。他市より優れた部分を作り、一点突破でないとだめです。

答（森田）：下里幼稚園の休園については、下里の議員 3 名が色々と相談し教育長に直談判しながら存続をお願いしたがだめでした。幼児園を強引に進める為に幼稚園を減らしています。その犠牲になったのが下里。これからも、地域としての声を出していく必要があります。

答（西川）：明るい話では、県知事が言われた中に、今県下で最も発展しているのは、加西市であるとのことでした。（イオン、三洋電機進出による）市街化調整区域の改善については、糺屋ダムを作った為により厳しい農振区域が設定されました。しかしながら、返済金が平成 27 年に終わります。このダムの水を多目的利用に持っていけば少しは改善するのではないかと思います。

答（山下）：住宅の規制緩和の話も当然出ることです。

問：議会報告会の対象区域を校区から町単位まで下げた方がもっと意見が出やすいのではないかと。本当に住民が何を求めているのかが分かる。こういう懇談会は言いにくい。魅力ある加西市に

するには何が必要か、30代40代の市民・市役所の人を集めて、将来の魅力ある街を考えてもらってほしい。フラワーセンターを中心とした一つの街づくりをしてはどうか。分譲住宅地をつくる。人を集める街づくりが必要。外にPRをし、マイクロバスも走らしたらいい。

答（森元）：貴重な意見をありがとうございます。細かい地域をまわって声を聞くのは、議員の個人の活動でもあります。加西市から出ていかれないような魅力ある街を作っていかなければならないと思います。これからも真剣に議論していきたい。

問：議案の説明が大変わかりにくい。分かりやすい説明方法を考えてほしい。話し言葉で伝えてほしい。資料も整理してほしい。

答（山下）：前回にアンケートをいただき、努力し改善をしているつもりです。しかし、もっとわかりやすい議会報告会にしていきたい。